

『生活保護システム運用における新たな提案』

今年のセミナーでは以下のキーワードで
「生活保護業務の適正実施」
「ワークスタイルの変革」を紹介いたします。
 KITACOMプレゼンツとして、各テーマに沿って紹介いたします。

Key word

セミナー&デモンストレーション

- ◆医療扶助適正化支援サービスの概要
- ◆電子決裁、文書管理システムの概要
- ◆生活保護費債権管理システムの概要



2017年 KITACOM ICTセミナー

Effect 効果

- 医療扶助適正化
(医療費の適正化支援、重症化予防 etc)
- ワークスタイル変革
(効率の良い決裁、ペーパーレス、省スペースの実現 etc)
- 生活保護業務の適正実施
(時効管理、調定以降の債権管理 etc)

【大阪開催事務局】
 北日本コンピューターサービス株式会社
 営業本部 関西第1営業部
 TEL 06-6394-8666
 FAX 06-6394-8606

〒532-0003
 大阪市淀川区宮原4丁目1番4号 KDX新大阪ビル3F
 担当：柴田・辻

福祉担当の方のみならず、
 情報システム等他部門の方にとっても
 有益な情報を提供いたします。
 公務ご多用とは存じますが、
 皆様のご来場を社員一同心からお待ちしております。

◎セミナーに関するお問い合わせメールアドレスは、
 右記の通りです。kansai-sa@kitacom.co.jp

生活保護システムセミナー

2018年 6月12日(火)

◆会場 グランフロント大阪 北館B2F
 ナレッジキャピタル **コングレコンベンションセンター／ホールA**

◆開催時間 13:00~16:30

No	セミナー内容	概要
1	KITACOMプレゼンツ 1 ◆特別基調講演 テーマ 『生活保護業務における医療扶助適正化の取り組み』	株式会社データホライゾン 特別講師 中本 克州氏 略歴： 東京理科大学工学部卒業。 卒後広島県呉市役所入庁。 長年にわたり、医療福祉分野に携わる。 保険年金課長、人事課長、広域行政推進室次長、 教育総務部長、福祉保健部長などを経て、 2008年/呉市副市長 2015年/株式会社データホライゾン取締役 2017年/同社顧問(現職) 2018年4月/社会福祉法人 呉市社会福祉協議会 会長(現職)
2	KITACOMプレゼンツ 2 ◆生活保護業務の 効率化支援サービス紹介	生活保護業務効率化支援サービスの紹介をおこないます。 ①AI×ビッグデータを活用したSV/CW支援サービス ②生活保護の金融機関調査・照会業務電子化の取組事例
3	KITACOMプレゼンツ 3 ◆生活保護業務システム お客様運用事例紹介	システムを活用した運用事例紹介をおこないます。 ①電子決裁・文書管理/債権管理システムの導入事例 (庁内検討～稼働～今後の課題) ②平成30年度法改正対応予定内容

新サービス・システムデモンストレーションの概要

A	【新サービス】 医療扶助適正化支援サービス	●医療扶助の適正を支援する様々なサービスを紹介します。 →レセプトデータを解析することにより、効果の期待できる対象者の選定や対策実施後の効果が見える化できます。生活保護でも検討されているPDCAに則したデータヘルス実施に対応します。
B	【生活保護システム】 電子決裁・文書管理システム	●紙の文書で行われている『起案・決裁』事務の電子化と、膨大な文書を電子文書として管理するシステムを紹介します。
C	【生活保護システム】 債権管理システム	●様々な債権管理として、時効管理・交渉経過の記録機能や債権管理台帳・不納欠損一覧の作成機能を紹介いたします。

← **セミナー参加FAX申込用紙は裏面にあります。**
 ★中央の点線で切り取り、送信してください。